



# クワイ入りクレープ

備後特産品  
研究会開発 催し会場で販売へ

福山市の食品関連業者らでつくる備後特産品研究会（中島基晴会長）は、生産量日本一を使つたご当地クレー

クワイの入った「当地クレープ」を企画・開発した。市内のイベント会場などで販売する。

クワイを煮て5ミリ角に切つたものを糖みつ漬けにし、サツマイモのペーストに交ぜた。独特のシャキシャキした食感とほのかな苦みが特徴。生クリームや皮生地ともうまくマッチしている。

備後の特産品づくりに取り組む同研究会は、加工が難しく調理

いクワイに着目。子どもにも親しんでもらえるように、半年がかりで完成させた。「クワイの素材の良さが生クリームの強い個性に埋もしないよう味のバランスに苦慮した」（中島会長）という。

クワイと同時に田尻産アンズと沼隈産ブドウを使ったクレープも試作、今後もバリエーションを増やしていく方針。（長瀬庸一）